

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 2015年2月10日から2025年1月10日まで (年2回決算型) 2015年4月10日から2025年1月10日まで	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

## 運用報告書(全体版)

# イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型) 第15作成期

第83期(決算日2022年2月10日) 第86期(決算日2022年5月10日)  
第84期(決算日2022年3月10日) 第87期(決算日2022年6月10日)  
第85期(決算日2022年4月11日) 第88期(決算日2022年7月11日)

(年2回決算型)

第15期(決算日2022年7月11日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税 込		債 券 組入比率	純資産 総 額
			分 配 金	期 中 騰 落 率		
第11 作成期	59期(2020年2月10日)	円 8,367	円 45	% △2.0	% 92.4	百万円 52,391
	60期(2020年3月10日)	7,636	45	△8.2	93.6	46,790
	61期(2020年4月10日)	7,639	45	0.6	91.6	45,706
	62期(2020年5月11日)	7,672	45	1.0	90.7	45,103
	63期(2020年6月10日)	7,793	45	2.2	91.9	43,860
	64期(2020年7月10日)	7,849	45	1.3	89.9	42,331
第12 作成期	65期(2020年8月11日)	8,193	45	5.0	92.6	41,457
	66期(2020年9月10日)	8,324	45	2.1	93.0	39,999
	67期(2020年10月12日)	8,342	45	0.8	92.0	38,891
	68期(2020年11月10日)	8,200	45	△1.2	90.2	36,787
	69期(2020年12月10日)	8,162	45	0.1	91.7	35,796
	70期(2021年1月12日)	8,187	45	0.9	91.6	35,353
第13 作成期	71期(2021年2月10日)	8,168	45	0.3	90.9	34,610
	72期(2021年3月10日)	8,347	45	2.7	89.7	34,588
	73期(2021年4月12日)	8,326	45	0.3	88.7	33,555
	74期(2021年5月10日)	8,368	45	1.0	88.8	33,376
	75期(2021年6月10日)	8,466	45	1.7	89.4	32,550
	76期(2021年7月12日)	8,295	45	△1.5	90.3	31,241
第14 作成期	77期(2021年8月10日)	8,252	45	0.0	90.3	30,613
	78期(2021年9月10日)	8,345	45	1.7	88.7	30,511
	79期(2021年10月11日)	8,320	45	0.2	91.7	30,014
	80期(2021年11月10日)	8,444	45	2.0	91.6	29,880
	81期(2021年12月10日)	8,312	45	△1.0	87.6	28,776
	82期(2022年1月11日)	8,531	45	3.2	88.6	29,161
第15 作成期	83期(2022年2月10日)	8,400	45	△1.0	87.7	28,421
	84期(2022年3月10日)	8,237	45	△1.4	88.3	27,615
	85期(2022年4月11日)	8,817	45	7.6	91.4	29,033
	86期(2022年5月10日)	8,858	45	1.0	89.2	28,745
	87期(2022年6月10日)	9,070	45	2.9	90.8	29,331
	88期(2022年7月11日)	9,047	45	0.2	90.4	29,213

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注4) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
第83期	(期 首) 2022年1月11日	円 8,531	%	—	% 88.6
	1月末	8,414		△1.4	87.1
	(期 末) 2022年2月10日	8,445		△1.0	87.7
第84期	(期 首) 2022年2月10日	8,400		—	87.7
	2月末	8,414		0.2	88.3
	(期 末) 2022年3月10日	8,282		△1.4	88.3
第85期	(期 首) 2022年3月10日	8,237		—	88.3
	3月末	8,785		6.7	88.1
	(期 末) 2022年4月11日	8,862		7.6	91.4
第86期	(期 首) 2022年4月11日	8,817		—	91.4
	4月末	9,020		2.3	87.8
	(期 末) 2022年5月10日	8,903		1.0	89.2
第87期	(期 首) 2022年5月10日	8,858		—	89.2
	5月末	8,752		△1.2	90.1
	(期 末) 2022年6月10日	9,115		2.9	90.8
第88期	(期 首) 2022年6月10日	9,070		—	90.8
	6月末	9,095		0.3	89.0
	(期 末) 2022年7月11日	9,092		0.2	90.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	債 券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
11期（2020年7月10日）	円 10,486	円 0	% △5.3	% 90.2	百万円 14,063
12期（2021年1月12日）	11,303	0	7.8	91.8	11,505
13期（2021年7月12日）	11,831	0	4.7	90.5	10,153
14期（2022年1月11日）	12,568	0	6.2	88.8	9,823
15期（2022年7月11日）	13,752	0	9.4	90.5	9,824

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
(期 首) 2022年1月11日	円 12,568	% —		% 88.8
1月末	12,396	△1.4		87.1
2月末	12,462	△0.8		88.4
3月末	13,086	4.1		88.3
4月末	13,504	7.4		88.2
5月末	13,169	4.8		90.6
6月末	13,756	9.5		89.6
(期 末) 2022年7月11日	13,752	9.4		90.5

(注1) 騰落率は期首比です。

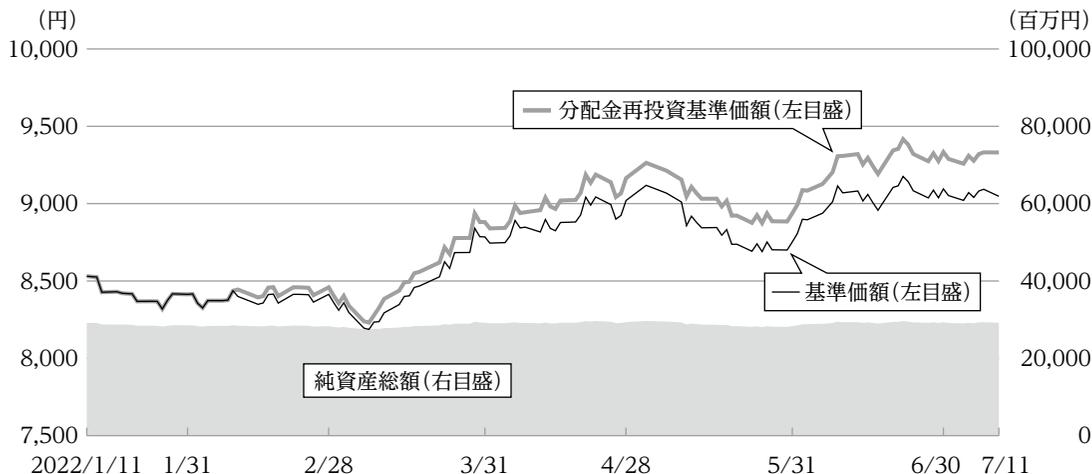
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

## 運用経過

（毎月決算型）

基準価額等の推移について

（2022年1月12日～2022年7月11日）



第83期首	8,531円
第88期末	9,047円（既払分配金270円）
騰落率	9.4%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

## 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・債券のクーポン収入（利金）。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

（年2回決算型）

基準価額等の推移について

（2022年1月12日～2022年7月11日）



第15期首	12,568円
第15期末	13,752円（既払分配金0円）
騰落率	9.4%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・債券のクーポン収入（利金）。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

## 投資環境について

### インド債券市場

当（作成）期中においてインド10年国債の利回りは上昇（価格は下落）傾向で推移しました。

米連邦準備制度理事会（FRB）が、2022年1月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において3月の利上げを示唆すると米国債利回りは上昇し、インド国債利回りも連れて上昇しました。2月に発表された2022/23年度国家予算案では、インフラ投資拡大など拡張的な財政政策が示され、インド国債利回りは一段と上昇しました。しかし、その後の金融政策決定会合において市場予想に反してインド準備銀行（RBI）が政策金利を据え置くと、利回りは一時的に低下に転じました。その後は、RBIの想定を上回って消費者物価指数（CPI）の上昇が続いたことなどから、5月に

は緊急の金融政策決定会合が開催され、3年9ヵ月ぶりに政策金利の引き上げが決定、即日実施され、6月もインフレ警戒姿勢が強まったことから政策金利が引き上げられました。

### 為替市場

インドルピーは、当（作成）期を通じてドル高インドルピー安基調で推移しました。FRBによる積極的な金融引き締めにより、対主要通貨でのドル高が進行するなかで、原油価格上昇を背景とした経常収支の悪化懸念などがインドルピーの下押し材料となりました。

対円では、期を通じてインドルピー高となりました。RBIが足元で金融引き締め姿勢を強めているのに対して、日銀は当面の間、緩和的な政策を維持する方針であり、金融政策の方向性の違いが材料視されました。

## ポートフォリオについて

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連

の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期は、金利上昇に備えて変動利付国債や短期債を購入し、デュレーションを短期化しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

（毎月決算型）

項目	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
	2022年1月12日 ～2022年2月10日	2022年2月11日 ～2022年3月10日	2022年3月11日 ～2022年4月11日	2022年4月12日 ～2022年5月10日	2022年5月11日 ～2022年6月10日	2022年6月11日 ～2022年7月11日
当期分配金 (円)	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率) (%)	0.533	0.543	0.508	0.505	0.494	0.495
当期の収益 (円)	27	26	43	38	45	32
当期の収益以外 (円)	17	18	1	6	—	12
翌期繰越分配対象額 (円)	784	766	765	759	759	748

（年2回決算型）

項目	第15期
	2022年1月12日 ～2022年7月11日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,712

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

インド準備銀行（RBI）は、想定を上回る消費者物価指数（CPI）の上昇を背景として、5月の緊急利上げに続き、6月の定例の金融政策決定会合においても政策金利を引き上げました。インド政府も物価高への対応として、ガソリンやディーゼル燃料に対する減税措置や石油会社への値下げ要請などの対応策を打ち出していますが、物価上昇の収束には時間を要するとみられています。このような環境下においてRBIは、長期的な経済成長のためインフレ抑制を優先する姿勢を鮮明にしており、今後も利上げサイクルが継続すると予想しています。

引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1 万口当たりの費用明細

(2022年1月12日～2022年7月11日)

項目	第83期～第88期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	73円	0.840%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、8,746円です。
(投信会社)	(36)	(0.409)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.020	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	( 0)	(0.002)	インドの税務代理人に対する手数料等
合計	75	0.860	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

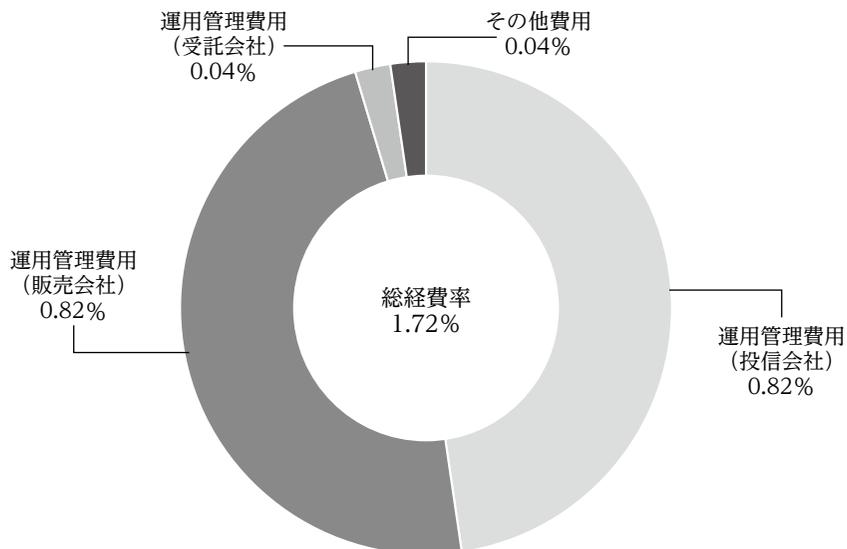
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

（参考情報）

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

売買及び取引の状況

（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 83 期 ～ 第 88 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	260,065	396,449	2,137,408	3,172,143

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2022年7月11日現在）

親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第82期末)	当 作 成 期 末 (第 88 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	20,456,473	18,579,131	29,401,475

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2022年7月11日現在の受益権総口数は、24,839,572千口です。

投資信託財産の構成

（2022年7月11日現在）

項 目	当 作 成 期 末 (第88期末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	29,401,475	99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	30,611	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	29,432,086	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（38,206,418千円）の投資信託財産総額（39,791,243千円）に対する比率は96.0%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年7月11日における邦貨換算レートは、1米ドル=136.47円、1インドルピー=1.73円です。

特定資産の価格等の調査

（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2022年2月10日)	(2022年3月10日)	(2022年4月11日)	(2022年5月10日)	(2022年6月10日)	(2022年7月11日)現在
項 目	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末
(A) 資 産	28,691,206,458円	27,882,804,857円	29,529,485,154円	29,029,303,751円	29,571,530,915円	29,432,086,592円
コール・ローン等	12,659,538	1,402,461	35,576,097	16,085,617	2,141,750	30,611,154
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	28,613,808,826	27,803,232,077	29,224,301,493	28,931,520,554	29,518,497,042	29,401,475,438
未 収 入 金	64,738,094	78,170,319	269,607,564	81,697,580	50,892,123	-
(B) 負 債	269,584,929	267,378,111	496,474,545	284,016,822	240,500,548	218,992,719
未払収益分配金	152,251,155	150,860,680	148,178,288	146,034,903	145,521,504	145,307,144
未払解約金	77,397,632	79,572,780	305,183,661	97,783,197	53,033,873	30,611,154
未払信託報酬	39,770,716	36,624,893	42,616,322	39,542,629	41,118,215	42,076,247
未払利息	36	4	104	46	6	89
その他未払費用	165,390	319,754	496,170	656,047	826,950	998,085
(C) 純資産総額(A-B)	28,421,621,529	27,615,426,746	29,033,010,609	28,745,286,929	29,331,030,367	29,213,093,873
元 本	33,833,590,113	33,524,595,653	32,928,508,498	32,452,200,715	32,338,112,009	32,290,476,457
次期繰越損益金	△ 5,411,968,584	△ 5,909,168,907	△ 3,895,497,889	△ 3,706,913,786	△ 3,007,081,642	△ 3,077,382,584
(D) 受益権総口数	33,833,590,113口	33,524,595,653口	32,928,508,498口	32,452,200,715口	32,338,112,009口	32,290,476,457口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,400円	8,237円	8,817円	8,858円	9,070円	9,047円

(注1) 元本の状況

当ファンドの第83期首元本額は34,184,620,589円、第83～88期中追加設定元本額は1,404,028,872円、第83～88期中一部解約元本額は3,298,173,004円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第83期0.8400円、第84期0.8237円、第85期0.8817円、第86期0.8858円、第87期0.9070円、第88期0.9047円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

損益の状況

第83期（自2022年1月12日至2022年2月10日）、第86期（自2022年4月12日至2022年5月10日）  
 第84期（自2022年2月11日至2022年3月10日）、第87期（自2022年5月11日至2022年6月10日）  
 第85期（自2022年3月11日至2022年4月11日）、第88期（自2022年6月11日至2022年7月11日）

項 目	第 83 期	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,524円	△ 640円	△ 1,360円	△ 3,703円	△ 2,156円	△ 3,888円
支 払 利 息	△ 1,524	△ 640	△ 1,360	△ 3,703	△ 2,156	△ 3,888
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 247,786,876	△ 359,697,534	2,094,821,848	314,724,167	874,282,024	111,744,664
売 買 益	4,879,577	2,649,661	2,125,989,560	322,843,777	883,118,098	115,278,720
売 買 損	△ 252,666,453	△ 362,347,195	△ 31,167,712	△ 8,119,610	△ 8,836,074	△ 3,534,056
(C) 信 託 報 酬 等	△ 39,936,106	△ 36,779,257	△ 42,792,738	△ 39,702,506	△ 41,289,118	△ 42,247,382
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 287,724,506	△ 396,477,431	2,052,027,750	275,017,958	832,990,750	69,493,394
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,608,401,546	△1,963,632,100	△2,394,000,630	△ 474,126,788	△ 318,737,655	364,133,735
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△3,363,591,377	△3,398,198,696	△3,405,346,721	△3,361,770,053	△3,375,813,233	△3,365,702,569
(配 当 等 相 当 額)	( 1,941,640,379)	( 1,868,506,771)	( 1,776,243,787)	( 1,752,944,275)	( 1,731,968,905)	( 1,740,605,685)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△5,305,231,756)	(△5,266,705,467)	(△5,181,590,508)	(△5,114,714,328)	(△5,107,782,138)	(△5,106,308,254)
(G) 計 (D+E+F)	△5,259,717,429	△5,758,308,227	△3,747,319,601	△3,560,878,883	△2,861,506,138	△2,932,075,440
(H) 収 益 分 配 金	△ 152,251,155	△ 150,860,680	△ 148,178,288	△ 146,034,903	△ 145,521,504	△ 145,307,144
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△5,411,968,584	△5,909,168,907	△3,895,497,889	△3,706,913,786	△3,007,081,642	△3,077,382,584
追 加 信 託 差 損 益 金	△3,422,468,180	△3,461,549,291	△3,409,202,796	△3,383,418,462	△3,375,813,233	△3,405,322,885
(配 当 等 相 当 額)	( 1,883,114,690)	( 1,805,412,882)	( 1,772,704,686)	( 1,731,962,686)	( 1,732,762,762)	( 1,702,129,456)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△5,305,582,870)	(△5,266,962,173)	(△5,181,907,482)	(△5,115,381,148)	(△5,108,575,995)	(△5,107,452,341)
分 配 準 備 積 立 金	771,283,907	762,668,991	746,866,879	731,492,708	724,293,007	714,072,989
繰 越 損 益 金	△2,760,784,311	△3,210,288,607	△1,233,161,972	△1,054,988,032	△ 355,561,416	△ 386,132,688

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。  
 (注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支払っています。  
 (注5) 分配金の計算過程

第83期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(93,374,352円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,941,991,493円)および分配準備積立金(771,283,907円)より、分配対象収益は2,806,649,752円(10,000円当たり829円)であり、うち152,251,155円(10,000円当たり45円)を分配金額としております。

第84期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(87,510,085円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,868,763,477円)および分配準備積立金(762,668,991円)より、分配対象収益は2,718,942,553円(10,000円当たり811円)であり、うち150,860,680円(10,000円当たり45円)を分配金額としております。

第85期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(144,322,213円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,776,560,761円)および分配準備積立金(746,866,879円)より、分配対象収益は2,667,749,853円(10,000円当たり810円)であり、うち148,178,288円(10,000円当たり45円)を分配金額としております。

第86期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(124,386,494円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,753,611,095円)および分配準備積立金(731,492,708円)より、分配対象収益は2,609,490,297円(10,000円当たり804円)であり、うち146,034,903円(10,000円当たり45円)を分配金額としております。

第87期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(146,057,930円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,732,762,762円)および分配準備積立金(723,756,581円)より、分配対象収益は2,602,577,273円(10,000円当たり804円)であり、うち145,521,504円(10,000円当たり45円)を分配金額としております。

第88期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(105,686,828円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,741,749,772円)および分配準備積立金(714,072,989円)より、分配対象収益は2,561,509,589円(10,000円当たり793円)であり、うち145,307,144円(10,000円当たり45円)を分配金額としております。

## 分配金のお知らせ

決算期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
1万口当たり分配金（税引前）	45円	45円	45円	45円	45円	45円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

## お知らせ

該当事項はありません。

## 1万口当たりの費用明細

（2022年1月12日～2022年7月11日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	110円	0.840%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、13,062円です。
（投信会社）	（ 53）	（0.409）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 53）	（0.409）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 3）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 2）	（0.015）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（ 1）	（0.005）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	（ 1）	（0.006）	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他1）	（ 0）	（0.002）	インドの税務代理人に対する手数料等
合計	113	0.867	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

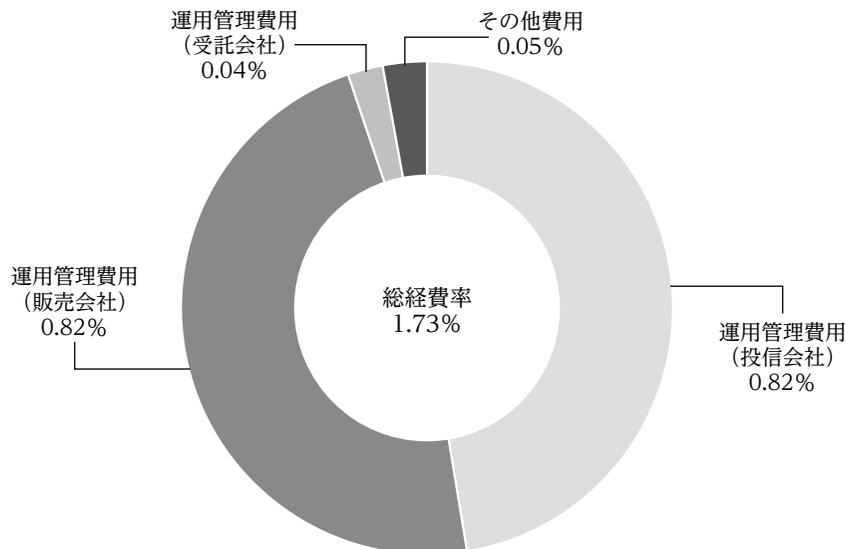
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）

売買及び取引の状況

（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 75,525	千円 117,734	千口 719,132	千円 1,062,586

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2022年7月11日現在）

親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 6,904,047	千口 6,260,440	千円 9,907,147

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2022年7月11日現在の受益権総口数は、24,839,572千口です。

投資信託財産の構成

（2022年7月11日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 9,907,147	% 99.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	32,812	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	9,939,959	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（38,206,418千円）の投資信託財産総額（39,791,243千円）に対する比率は96.0%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年7月11日における邦貨換算レートは、1米ドル=136.47円、1インドルピー=1.73円です。

特定資産の価格等の調査

（2022年1月12日から2022年7月11日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2022年7月11日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	9,939,959,402円
コール・ローン等	317,277
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(詳細価額)	9,907,147,668
未 収 入 金	32,494,457
(B) 負 債	115,049,211
未 払 解 約 金	32,811,734
未 払 信 託 報 酬	81,238,632
そ の 他 未 払 費 用	998,845
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	9,824,910,191
元 本	7,144,422,910
次 期 繰 越 損 益 金	2,680,487,281
(D) 受 益 権 総 口 数	7,144,422,910口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	13,752円

- (注1) 元本の状況  
 期首元本額 7,816,351,164円  
 期中追加設定元本額 158,842,485円  
 期中一部解約元本額 830,770,739円

(注2) 1口当たり純資産額は1.3752円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

損益の状況

当期（自2022年1月12日 至2022年7月11日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,606円
支 払 利 息	△ 1,606
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	911,404,041
売 買 益	957,163,569
売 買 損	△ 45,759,528
(C) 信 託 報 酬 等	△ 82,237,477
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	829,164,958
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,410,247,158
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	441,075,165
(配 当 等 相 当 額)	( 1,126,690,069)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 685,614,904)
(G) 計 (D + E + F)	2,680,487,281
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	2,680,487,281
追 加 信 託 差 損 益 金	441,075,165
(配 当 等 相 当 額)	( 1,127,281,107)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 686,205,942)
分 配 準 備 積 立 金	2,239,412,116

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注5) 分配金の計算過程  
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(251,267,729円)、費用控除後の有価証券売買等損益(51,202,699円)、信託約款に規定する収益調整金(1,127,281,107円)および分配準備積立金(1,936,941,688円)より、分配対象収益は3,366,693,223円(10,000口当たり4,712円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

## お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

＜参考情報＞

下記は、イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド全体（24,839,572千口）の内容です。

公社債

(A) 種類別開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

（2022年7月11日現在）

区 分	当（作成）期末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入 比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年 以上	2年 以上	2年 未 満
イ ン ド	千インドルピー 20,373,000	千インドルピー 20,397,680	千円 35,287,987	% 89.8	% 4.5	% 57.6	% 16.4	% 15.8
合 計	20,373,000	20,397,680	35,287,987	89.8	4.5	57.6	16.4	15.8

（注1）邦貨換算金額は、当（作成）期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

（注3）額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

（注4）－印は組入れなしです。

（注5）BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は14.5%です。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

（2022年7月11日現在）

銘 柄		当（作成）期末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
国 債 証 券	6.22% INDIA GOVT BOND	6.22	500,000	448,349	775,645	2035/03/16
	6.64% INDIA GOVT BOND	6.64	1,750,000	1,617,875	2,798,923	2035/06/16
	7.57% INDIA GOVT BOND	7.57	1,200,000	1,210,157	2,093,573	2033/06/17
	7.68% INDIA GOVT BOND	7.68	19,000	19,322	33,428	2023/12/15
	7.88% INDIA GOVT INDIA GOVERNMENT BOND	7.88	10,000	10,314	17,843	2030/03/19
	5.53	3,100,000	3,036,450	5,253,058	2033/09/22	
特 殊 債 券 (除く金融債)	6.4% NABARD	6.4	250,000	249,722	432,020	2023/07/31
	6.65% HOUSING & URBAN DE	6.65	750,000	751,068	1,299,348	2023/06/15
	6.85% NABARD	6.85	1,000,000	953,586	1,649,703	2031/03/21
	7.43% NABARD	7.43	500,000	498,260	861,989	2030/01/31
	8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	504,726	873,177	2028/11/28
	8.83% EX-IM BANK OF IND	8.83	25,000	25,318	43,800	2023/01/09
	8.87% EX-IM BANK OF IND	8.87	100,000	104,410	180,629	2025/03/13
	9.5% EXPORT-IMPORT BK IN	9.5	250,000	259,609	449,124	2023/12/04
	6.92% INDIAN RAILWAY FIN (含む投資法人債券)	6.92	250,000	237,029	410,061	2031/08/29
7.48% INDIAN RAILWAY FIN	7.48	250,000	249,166	431,058	2029/08/13	

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

銘柄		当（作成）期末				
		利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
普通社債券 (含む投資法人債券)	7.55% INDIAN RAILWAY FIN	7.55	250,000	250,024	432,541	2029/11/06
	7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	354,247	612,848	2026/08/14
	7.7% NATL HIGHWAYS AUTH	7.7	550,000	556,612	962,938	2029/09/13
	7.95% SIKKA PORTS & TERM	7.95	1,000,000	1,006,102	1,740,556	2026/10/28
	8.12% NHPC LTD	8.12	1,250,000	1,303,556	2,255,152	2029/03/22
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	50,000	52,322	90,517	2026/03/25
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	100,000	104,958	181,577	2027/03/25
	8.23% INDIAN RAILWAY FIN	8.23	250,000	258,807	447,736	2029/03/29
	8.23% PUNJAB NATIONAL BK	8.23	75,000	76,105	131,662	2025/02/09
	8.27% RURAL ELECTRIFICAT	8.27	320,000	328,668	568,597	2025/02/06
	8.3% REC LIMITED	8.3	750,000	783,360	1,355,212	2029/03/23
	8.35% INDIAN RAILWAY FIN	8.35	250,000	260,289	450,300	2029/03/13
	8.37% NATL HIGHWAYS AUTH	8.37	100,000	104,449	180,697	2029/01/20
	8.52% LIC HOUSING FIN	8.52	100,000	103,603	179,234	2025/03/03
	8.78% NHPC	8.78	50,000	50,718	87,743	2023/02/11
	8.83% INDIAN RAIL FIN	8.83	20,000	20,351	35,208	2023/03/25
	8.9508% PIPELINE INFRAS	8.9508	1,150,000	1,185,124	2,050,265	2024/03/22
	9.15% ICICI BANK	9.15	400,000	415,742	719,234	2024/08/06
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	99,000	99,061	171,376	2026/06/30
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	45,000	45,028	77,898	2026/12/31
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	14,000	14,008	24,235	2027/12/31
	9.17% NTPC LTD	9.17	18,000	18,859	32,627	2024/09/22
	9.25% ICICI BANK	9.25	250,000	260,655	450,934	2024/09/04
	9.7% COASTAL GUJARAT POW	9.7	1,000,000	1,029,838	1,781,619	2023/08/25
	DME DEVELOPMENT LTD	8.09	150,000	157,199	271,955	2033/03/16
	DME DEVELOPMENT LTD	8.09	150,000	157,228	272,004	2034/03/16
	DME DEVELOPMENT LTD	8.09	150,000	157,105	271,792	2035/03/16
DME DEVELOPMENT LTD	8.09	150,000	156,946	271,517	2036/03/17	
DME DEVELOPMENT LTD	8.09	150,000	156,954	271,530	2037/03/16	
ICICI HOME FINANCE	5.06	250,000	250,058	432,600	2024/09/27	
SUNDARAM HOME FINANCE	5.12	500,000	504,324	872,481	2024/09/27	
合 計					35,287,987	

(注1) 邦貨換算金額は、当（作成）期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

# イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド

## 運用報告書

第7期（決算日：2022年1月11日）  
（計算期間：2021年1月13日～2022年1月11日）

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」の第7期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	債券組入比率	純資産総額
3期(2018年1月10日)	円 12,074	% 8.2	% 90.9	百万円 90,147
4期(2019年1月10日)	11,163	△ 7.5	87.4	76,725
5期(2020年1月10日)	12,259	9.8	94.2	75,199
6期(2021年1月12日)	12,707	3.7	91.0	47,218
7期(2022年1月11日)	14,352	12.9	88.0	39,268

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率
(期首) 2021年1月12日	円 12,707	% —	% 91.0
1月末	12,791	0.7	89.0
2月末	12,893	1.5	89.7
3月末	13,458	5.9	90.0
4月末	13,198	3.9	87.2
5月末	13,656	7.5	90.4
6月末	13,477	6.1	90.0
7月末	13,356	5.1	89.4
8月末	13,679	7.6	90.8
9月末	13,810	8.7	89.0
10月末	13,976	10.0	90.9
11月末	14,032	10.4	88.3
12月末	14,218	11.9	88.9
(期末) 2022年1月11日	14,352	12.9	88.0

(注) 騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 基準価額の推移について

(2021年1月13日～2022年1月11日)



第7期首	12,707円
第7期末	14,352円
騰落率	12.9%

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



- ・債券からのクーポン収入（利金）。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

## 投資環境について

### インド債券市場

期初から2021年3月上旬にかけてインド10年国債利回りは上昇（価格は下落）傾向となりました。2月上旬に発表された2021/22年度（2021年4月～2022年3月）国家予算案で大幅な財政拡大方針が示され国債の需給悪化懸念が高まったことや、世界的な金利上昇が利回り上昇の要因となりました。その後はインド国債が国際的な債券指数に組み入れられるとの期待や、4月にインド準備銀行（中央銀行、RBI）が国債購入プログラムを発表したことから、利回りは低下に転じました。7月から期末にかけては、原油価格上昇がインド国内のインフレ圧力を高めるとの警戒感や、RBIが国債購入プログラムを停止したことで2022年以降の利上げを予想する見方が強まり、利回りは上昇傾向で推移しました。

### ポートフォリオについて

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄

### 為替市場

インドルピーは、期初に株式市場などへの資金流入を背景に上昇しましたが、その後は米国債利回りが上昇し、米ドル高が進行する中で伸び悩み展開となりました。2021年4月にRBIが国債購入プログラムを発表すると市場では量的緩和と受け止められ、ルピーは大幅に下落しました。5月下旬にかけて、インド国内の新型コロナウイルス感染者数の減少を背景とした経済活動再開への期待からルピー高となる局面もありましたが、原油価格上昇への警戒が燃る中、ルピーの上昇は続きませんでした。期末にかけては、米国での量的緩和政策縮小への思惑からルピーは軟調に推移し、通期でルピー安米ドル高となりました。

一方、対円では金融政策の方向性の違いなどから、期を通じてルピーは上昇しました。

柄選択により、運用を行いました。

当期は、金利上昇に備えて変動利付国債を買い増したほか、インド国外で発行されたインドルピー建て債券（マサラ債）などへの投資を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 今後の運用方針について

新型コロナウイルスではオミクロン株の感染者数が増加しているものの、ワクチン接種の進展、政府による設備投資への注力に加え、コモディティ価格の上昇など金融政策の正常化に繋がる動きが加速しており、RBIによる段階的な金融緩和政策の縮小が予想されます。金融政策の正常化は、流動性供給の削減から始まり、政策金利設定における上限と下限の幅縮小を経て、最終的に政策金利の引き上げへと向かうことが想定されます。実際に、金融政策委員会

メンバー内では緩和的なスタンスに反対する意見も出ていることから、今後の政策決定は、成長重視から成長とインフレのバランスに焦点を当てたものになると考えられます。

引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

## 1 万口当たりの費用明細

(2021年1月13日～2022年1月11日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	5円	0.034%	(a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、13,545円です。
(保管費用)	(4)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(0)	(0.004)	インドの税務代理人に対する手数料、ライセンス更新料等
合計	5	0.034	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 売買及び取引の状況

(2021年1月13日から2022年1月11日まで)

### 公社債

			買付額	売付額
			千インドルピー	千インドルピー
外国	インド	国債証券	10,455,621	12,046,202
		特殊債券	1,313,279	559,917
		社債券（投資法人債券を含む）	2,096,693	6,573,084 (2,060,900)

(注1) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券（投資法人債券を含む）には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## 利害関係人との取引状況等

(2021年1月13日から2022年1月11日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2022年1月11日現在)

公社債

(A) 種類別開示

外国(外貨建)公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
イ ン ド	千インドルピー 20,853,900	千インドルピー 22,012,533	千円 34,559,677	% 88.0	% —	% 53.8	% 19.7	% 14.5
合 計	20,853,900	22,012,533	34,559,677	88.0	—	53.8	19.7	14.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) 一印は組入れなしです。

(注5) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は20.6%です。

(B) 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

組入有価証券明細表

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
国債証券	6.22% INDIA GOVT BOND	6.22	500,000	467,500	733,975	2035/03/16
	6.64% INDIA GOVT BOND	6.64	1,750,000	1,690,850	2,654,634	2035/06/16
	6.67% INDIA GOVT BOND	6.67	1,250,000	1,208,125	1,896,756	2035/12/15
	7.57% INDIA GOVT BOND	7.57	1,200,000	1,271,760	1,996,663	2033/06/17
	7.68% INDIA GOVT BOND	7.68	19,000	19,919	31,273	2023/12/15
	7.88% INDIA GOVT	7.88	10,000	10,793	16,945	2030/03/19
	INDIA GOVERNMENT BOND	4.62	2,250,000	2,261,475	3,550,515	2033/09/22
特殊債券 (除く金融債)	6.85% NABARD	6.85	1,250,000	1,246,365	1,956,793	2031/03/21
	7.43% NABARD	7.43	500,000	517,011	811,707	2030/01/31
	8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	529,084	830,662	2028/11/28
	8.83% EX-IM BANK OF IND	8.83	25,000	25,970	40,773	2023/01/09
	8.87% EX-IM BANK OF IND	8.87	100,000	109,161	171,383	2025/03/13
普通社債券 (含む投資法人債券)	2% TATA STEEL	2.0	670,000	1,228,601	1,928,903	2022/04/23
	6.92% INDIAN RAILWAY FIN	6.92	500,000	495,707	778,260	2031/08/29
	7.3% NATL HIGHWAYS AUTH	7.3	450,000	453,779	712,433	2022/05/18
	7.48% INDIAN RAILWAY FIN	7.48	250,000	259,047	406,703	2029/08/13

銘柄		当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
	7.55% INDIAN RAILWAY FIN	7.55	250,000	260,236	408,571	2029/11/06
	7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	368,154	578,002	2026/08/14
	7.7% NATL HIGHWAYS AUTH	7.7	550,000	574,248	901,570	2029/09/13
	7.95% SIKKA PORTS & TERM	7.95	1,000,000	1,053,159	1,653,459	2026/10/28
	8.12% NHPC LTD	8.12	1,250,000	1,353,546	2,125,067	2029/03/22
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	50,000	54,031	84,828	2026/03/25
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	100,000	108,512	170,364	2027/03/25
	8.23% INDIAN RAILWAY FIN	8.23	250,000	271,755	426,655	2029/03/29
	8.23% PUNJAB NATIONAL BK	8.23	75,000	79,029	124,076	2025/02/09
	8.27% RURAL ELECTRIFICAT	8.27	320,000	339,791	533,472	2025/02/06
	8.3% REC LIMITED	8.3	750,000	813,721	1,277,542	2029/03/23
	8.37% NATL HIGHWAYS AUTH	8.37	100,000	107,793	169,236	2029/01/20
	普通社債券 (含む投資法人債券)	8.52	100,000	106,842	167,742	2025/03/03
	8.78% NHPC	8.78	50,000	52,107	81,808	2023/02/11
	8.83% INDIAN RAIL FIN	8.83	20,000	20,927	32,855	2023/03/25
	8.85% NHPC	8.85	10,900	10,937	17,172	2022/02/11
	8.9508% PIPELINE INFRAS	8.9508	1,350,000	1,438,607	2,258,613	2024/03/22
	9.15% COASTAL GUJARAT PO	9.15	750,000	761,975	1,196,301	2022/06/14
	9.15% ICICI BANK	9.15	400,000	432,524	679,063	2024/08/06
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	99,000	100,056	157,089	2026/06/30
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	45,000	45,523	71,472	2026/12/31
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	14,000	14,126	22,178	2027/12/31
	9.17% NTPC LTD	9.17	18,000	19,617	30,799	2024/09/22
	9.25% ICICI BANK	9.25	250,000	271,493	426,244	2024/09/04
	9.7% COASTAL GUJARAT POW	9.7	1,000,000	1,059,152	1,662,868	2023/08/25
	SUNDARAM HOME FINANCE	5.12	500,000	499,510	784,231	2024/09/27
合 計					34,559,677	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

## 投資信託財産の構成

(2022年1月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 34,559,677	87.8 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,785,662	12.2
投 資 信 託 財 産 総 額	39,345,339	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産 (37,917,264千円) の投資信託財産総額 (39,345,339千円) に対する比率は96.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年1月11日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.34円、1インドルピー=1.57円です。

## 特定資産の価格等の調査

(2021年1月13日から2022年1月11日まで)

該当事項はありません。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	39,460,649,963円
コール・ローン等	3,657,752,065
公 社 債(評価額)	34,559,677,786
未 収 入 金	521,651,120
未 収 利 息	650,641,126
前 払 金	12,110,104
前 払 費 用	58,817,762
(B) 負 債	191,990,181
未 払 金	115,337,600
未 払 解 約 金	76,648,395
未 払 利 息	4,186
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	39,268,659,782
元 本	27,360,521,799
次 期 繰 越 損 益 金	11,908,137,983
(D) 受 益 権 総 口 数	27,360,521,799口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額(C/D)	14,352円

- (注1) 元本の状況
- |                                   |                 |
|-----------------------------------|-----------------|
| 期首元本額                             | 37,159,762,800円 |
| 期中追加設定元本額                         | 298,718,789円    |
| 期中一部解約元本額                         | 10,097,959,790円 |
| 期末における元本の内訳                       |                 |
| イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)  | 20,456,473,952円 |
| イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型) | 6,904,047,847円  |

(注2) 1口当たり純資産額は1,4352円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## 損益の状況

当期(自2021年1月13日 至2022年1月11日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,638,575,844円
受 取 利 息	2,640,058,061
支 払 利 息	△ 1,482,217
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,564,051,707
売 買 益	3,971,523,093
売 買 損	△ 1,407,471,386
(C) 信 託 報 酬 等	△ 14,414,587
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	5,188,212,964
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,058,531,160
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	98,099,135
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 3,436,705,276
(H) 計 (D+E+F+G)	11,908,137,983
次 期 繰 越 損 益 金(H)	11,908,137,983

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## お知らせ

該当事項はありません。